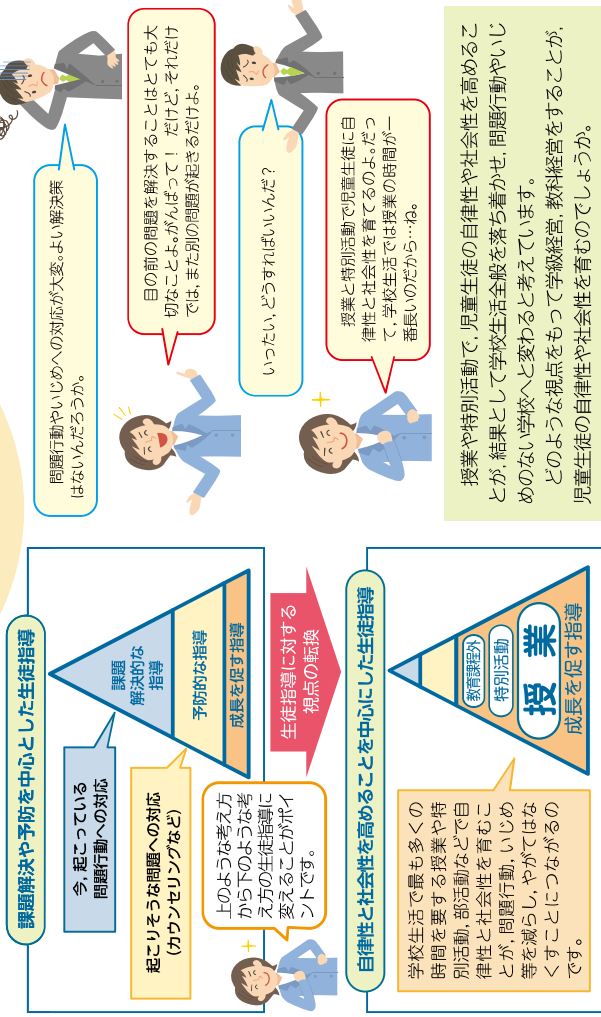
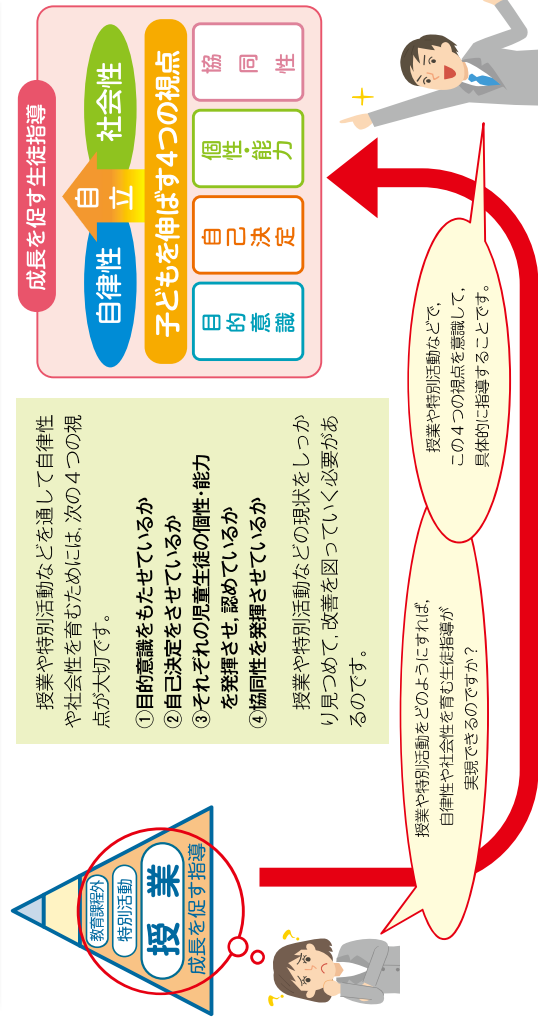


成長を促す生徒指導

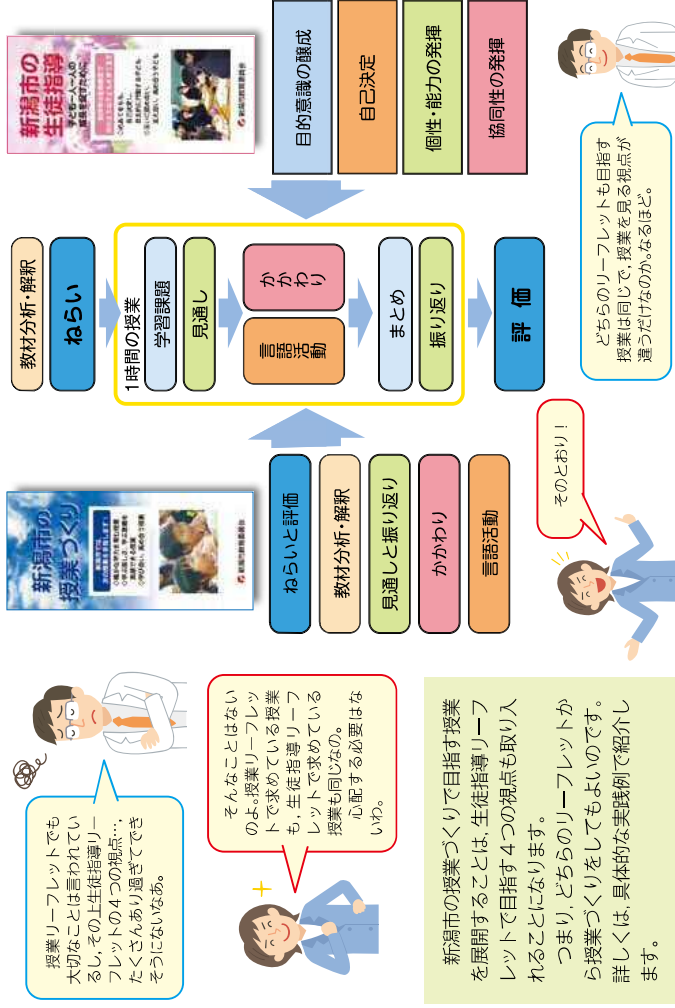
成長を促す生徒指導へ～視点の転換～



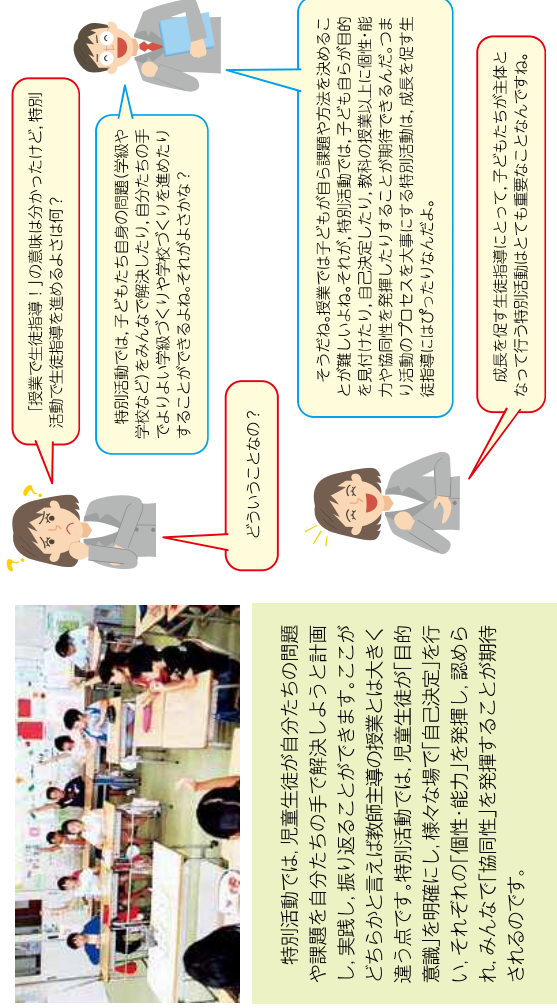
成長を促す生徒指導へ～4つの視点で自律性・社会性の育成～



授業で生徒指導！ ～リーフレットの関連から～

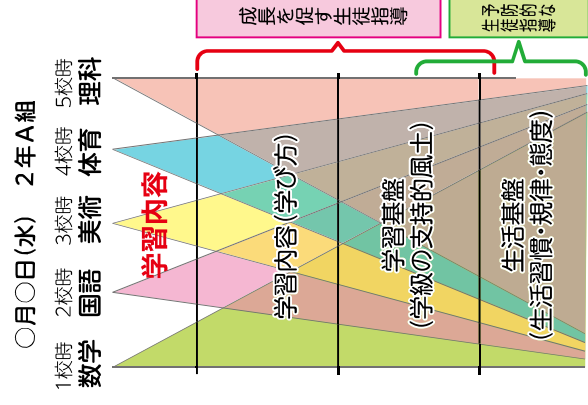


特別活動で生徒指導！ ～児童生徒が自らの手で～



成長を促す生徒指導の授業実践

～やり切る視点①～



成長を促す生徒指導について、何となく分かったんだけど、具体的な授業場面でどうすればいいんだろう？

先生が、学習課題を明確にして授業をすすめることは、多くの生徒が、目的意識をはっきりさせて取り組むことにつながるのよ！

右の図をみてください。先生の、理科指導では学習内容を教えているわけじゃないですよ。学び方を身に付けさせたり、学級の支持的風土を育てたり、規律や態度を育てたりして、落ちる位たい授業ができていますよ。

それに、ホワイトボードを使って、話し合いをしているとき、先生は、いつも上手に生徒をほめてその気にさせてるでしょ。あれよ！先生はもうやっちゃってるじゃない。

なんだ、そういうことか！それは意識してやっていたことだよ。よかった！

児童生徒に学習方法(学び方)を身に付けさせたり、学級の支持的風土をつくらせたりすることは、授業者がそれらを意識して、**継続しない**と**表現しない**のです。

取組を意識することで、「**目的意識を醸成**」したり、「**自己決定**」を促したり、「**個性・能力を発揮**」させたり、「**協同性を発揮**」させたりするのです。

成長を促す生徒指導の授業実践

～やり切る視点②～

ホワイトボードを使って話し合う

成長を促す生徒指導を進めるに当たって、具体的な方策をいくつか紹介させていただきます。

学校支援課では次の3つを特に大切にしています。

- 追求意欲の高まる学習課題と正対したまごめ**
→目的意識の醸成、自己決定を促す。
- 協同性が発揮される話し合いやグループ活動**
→個性・能力の発揮を促す。
- 児童生徒が主体となった活動(特別活動など)**
→より成長を促す生徒指導の実現が図れる。

やり切るためには、取組を「**選択し集ませる**」ことが大切です。学校や学級の事態を把握し、**全職員が協同性**を発揮して取り組ましますよ。

つまり、学習方法(学び方)、学習基盤(支持的風土)、生活基盤(生活習慣、規律、態度)のどこに重点をかけるのか、取組は学習課題と正対したまごめ、話し合いやグループ活動などどこに重点をかけるのか選択し、**やり切る**ことが**最も大切**です。

成長を促す生徒指導をスタートするに当たって

成長を促す生徒指導をスタートするに当たって、最初に取り組むことは児童生徒が安心して学級で過ごすことができるようにすることです。これは、教師が必ずやり切らなくてはならないことです。

そのためには、いろんな取組があるんだと思うけど、特に大切なことは何？

子どもたちに積極的にいかかわり、良好な人間関係を築きながら、次の2つを促すことです。
○人を傷つける言葉や行動を許さないこと ○人の話は最後まできちんと聞くこと

教師には子どももの良くない言動を見逃さない態度のよいアンテナが必要ですね。

子どもたちは教師がどのような対応をするのかをしっかりと見ています。

この2つをやり切ることは、言い換えれば「一人一人の子どもをしっかりと守り、大切にすること」教師の決意をメッセージとして子どもたちに伝えることです。
このことは、年度当初、子どもたちに出会った瞬間から、徹底する必要があります。しばらく様子を見てからという内容ではありません。
学校全体で意識して取り組ましましょう。

確かに、これがきちんと指導できている学級は、落ちついた学級になってるわ。

生徒指導ガイドブック ～実践例の見方(授業編)～

この後に掲載されている実践例(授業編)の見方を紹介します。

このページで重点を付けている観点を

重点を付けている観点から具体的に授業を組み立てた例示

自己決定を促す

観点が自己決定を促し、協同性を育みます

生徒指導リーフレットから見た授業づくり

授業リーフレットから見た授業づくり

授業の様子は板書を見るとよく分かりますね。